

事業者団体調査(神奈川県社会福祉協議会・神奈川県社会福祉事業団)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
神奈川県社会福祉協議会	スキル基本研修(介護系)	介護職員(実務経験1年未満)	①対人援助職としての基本姿勢 ②チームケア(1)(2) ③介護基本技術	1回	1ヵ所	18時間(3日)	延べ144人	-	-	-
	スキル向上研修	介護職員(実務経験概ね3年程度)	①介護職としての基本姿勢 ②チームケア ③介護技術演習	1回	1ヵ所	18時間(3日)	延べ120人	-	-	-
	現任者研修	福祉施設従事者	①社会福祉の動向②利用者の権利擁護の考え方 ③福祉従事者としての基本姿勢・理念 ④人材育成の仕組みの理解⑤記録の意義と役割⑥どう活かすキャリアパス	21回	1ヵ所	245時間(42日)	延べ2,243人	-	-	-
神奈川県社会福祉事業団	認知症介護実践者研修	介護保険施設・事業所等(介護老人福祉施設・介護老人保健施設・認知症対応型共同生活介護事業所・特定施設入居者生活介護事業所等)で実務経験2年以上の介護職員等。	高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施すること、また認知症介護を提供する事業所を管理する立場にある者等に対し、適切なサービスの提供に関する知識等を修得させるための研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	3回	5ヵ所	6日間(36時間)+他施設実習1日+職場研修4週間+実習のまとめ1日	242人	-	-	-
	認知症介護実践リーダー研修	介護・看護におけるチームリーダーの立場にある者で、介護業務に概ね5年以上従事した経験を有し、実践者研修を終了し、1年以上経過している者	高齢者介護実務者及び指導的立場にある者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	2回	3ヵ所	10日間(63時間)+他施設実習3日+職場研修4週間+実習のまとめ3日	75人	-	-	-
	認知症対応型サービス事業管理者研修	認知症対応型サービス(認知症対応型通所介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所・認知症対応型共同生活介護事業所)の管理者(予定者)	指定認知症対応型サービス事業所で管理者として従事することを予定している者を対象に、指定認知症対応型サービス事業所を円滑に管理・運営するための研修を実施することにより、必要な知識・技術をもった指定認知症対応型事業所の管理者を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	3回	2ヵ所	講義6時間×4日	87人	-	-	-
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	小規模多機能型居宅介護事業に勤務する計画作成担当者(予定者)。	指定小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者(介護支援専門員)として従事している者及び従事することを予定している者を対象に、利用登録者に関する居宅介護支援計画や指定小規模多機能型居宅介護事業所における小規模多機能型居宅介護計画を適切に作成する上での研修を実施することにより、必要な知識・技術をもった計画作成担当者を養成し、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。	3回	2ヵ所	講義6時間×4日	23人	-	-	-
	認知症介護基本講座	介護保険施設・居宅サービス・訪問通所等に従事する介護職員で概ね実務経験5年未満の者。	現任者研修体制の中核をなす認知症介護実践者研修をより広く、認知症介護実務者に、基礎的な知識を習得する機会を提供する。また、受講参加者が利用者中心の介護とは何か、何故知識が必要かを考える。	1回	1ヵ所	6時間×1日	243人	-	-	-
	福祉講演会	一般県民、民生委員、福祉関係者、介護保険事業者等	一般県民へのスピリチュアル・ケアに関する知識啓発等や医療・福祉関係者等への看取り介護に関する基本的な知識を習得する機会を提供し、尊厳ある終末期の向上に寄与する。	1回	1ヵ所	3時間×1日	167人	-	-	-
	家庭介護教室	一般県民、民生委員、福祉関係者、介護保険事業者等	一般県民の方へ広く高齢者保健福祉制度及び介護保険制度の普及を図る。	5回	5ヵ所	1日目(3時間)+2日目(3時間)×5回=30時間	251人	-	-	-
福祉の仕事セミナー	高校生(福祉の仕事に就きたい者、福祉に関心をもっている者)	福祉の専門職を招き、体験談を交えた座談会を行う。また、特別養護老人ホームの見学、高齢者とのふれあい、同じ目標を持った仲間との交流を通して、福祉の仕事をもっと身近なものとして考えられる機会を提供する。	1回	1ヵ所	6時間×1日	31人	-	-	-	

事業者団体調査(神奈川県社会福祉協議会・神奈川県社会福祉事業団)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
神奈川県社会福祉事業団	高校生介護体験教室	高校生	福祉ボランティア活動の位置付け、福祉の心やボランティアの心を育てる。	3回	1ヵ所	6時間×12日	20人	-	-	-
	身体拘束廃止推進モデル施設養成研修	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護事業所及び特定施設入居者生活介護事業所のうち、各団体等の推薦を踏まえ、13施設程度選出し、当該施設の施設長及び管理者並びに介護職員等(1施設2~5名程度)	各地域における中核的施設において、実践的な取り組みを実施するため、各地域の中核となる身体拘束廃止推進モデル施設を養成する。	1回	1ヵ所	講義・演習(6時間)×4日間+意見交換1日	47人	-	-	-
	高齢者の権利擁護に関する研修	介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護事業所及び地域密着型サービス事業所の職員及び併設されている居宅系事業所の職員。	高齢者の尊厳と認知症の介護を通じて高齢者虐待を防ぐために介護施設を利用されているご本人、ご家族の声を受け止め、適切なケアをすることができる介護施設や介護職員に必要な専門性について考える。	1回	1ヵ所	4時間×1日	422人	-	-	-
	介護相談活動推進事業等研修	介護相談推進事業を実施する介護相談員及び認知症コールセンター事業を実施するコールセンター相談員等、介護相談活動を行っている者。	講義・演習等により相談事業を通じて、介護サービスの相談窓口として、適切な対応が実践できる人材を養成し、相談員自らのメンタルヘルス対策等を推進するための知識を習得する。	1回	1ヵ所	3.5時間×1日	223人	-	-	-
	尊厳を支えるケアワーク研修	高齢者の介護の実務経験が概ね3年~5年未満の者	高齢者の尊厳を支える生活支援をしていくために必要な知識及び技術を習得する。	1回	1ヵ所	6時間×1日	55人	-	-	-
	暮らしを支える介護福祉講座	一般企業の従業員、家族	介護が必要な状態になったとき、介護施設を利用する事を心配に思ったときには、どのようにすればよいのか、そのような時に備えての必要な知識やよりよい介護サービスを利用することを学ぶ。	1回	1ヵ所	1.5時間×1日	20人	-	-	-
	介護職員の認知症介護基礎講座	高齢者の介護の実務経験が概ね5年未満の者	認知症介護のこれまでを振り返り、認知症の人の立場から視点を捉える。その人本来の姿を理解し、真のニーズを見極める。また、認知症介護のある場面を考え、認知症の人を介護するうえで大切なことを学ぶ。	1回	1ヵ所	4時間×1日	388人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。		質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。		質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。	
社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 体系的な研修の実施(キャリアパスに対応する研修枠組みの必要) 研修ニーズの把握、研修効果の把握(階層ごとに求められるもの) より参加しやすい日程、時間の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 日程設定の工夫 本会ホームページにおける研修案内・研修シラバスの提供 	資格取得に向けた補助制度の促進 研修参加のための休みを柔軟に取得できるようにする		
神奈川県社会福祉事業団	事前の会場がないため、研修の実施に苦慮している。	年間計画で同じ研修を複数回(年→複数回、1日→昼・夜など)実施している。 研修内容をインターネットなどに掲載している。	地域に区別した研修支援が必要。		

事業者団体調査(新潟県社会福祉協議会)

質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
実施主体	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
新潟県社会福祉協議会	新任職員研修	職務経験2年未満の処遇職員	「社会福祉の理念・動向」「福祉サービスの実践」等	1回	1カ所	2日	478人	-	-	-
	中堅職員基礎研修	職務経験2年以上で主任・係長の職にない処遇職員	「社会福祉の理念・動向」「福祉サービスの実践」等	3回	1カ所	2日	447人	-	-	-
	中堅職員専門研修	職務経験5年以上で主任、係長の職にない処遇職員	「社会福祉の理念・動向」「福祉サービスの実践」等	3回	1カ所	2日	408人	-	-	-
	指導的職員研修	主任、係長、事務長の役職にある者	「社会福祉の理念・動向」「能力開発」等	2回	1カ所	2日	271人	-	-	-
	施設運営管理者研修	理事長・施設長等の役職にある者	「国及び県行政の動向」「これからの社会福祉法人の経営について」	2回	1カ所	2日	264人	-	-	-
	職場研修担当職員研修[初級コース]	職場研修担当者[初級]	「これからの福祉人材育成と職場研修」「職場研修の考え方と推進方法」等	1回	1カ所	2日	128人	-	-	-
	職場研修担当職員研修[中級コース]	職場研修担当者[中級]	「OJT活性化施策の推進」「意図的・計画的指導の推進」等	1回	1カ所	2日	92人	-	-	-
	社会福祉研究発表会	施設関係職員	基調講演「新しい時代の福祉と施設職員の役割」、研究発表「従来型特養における個別ケアの実践について」等	1回	1カ所	1日	255人	-	-	-
	リスクマネジメント研修	職場経験5年以上の職員で指導的立場にある者	講義・演習「リスクマネジメントの基本と価値観診断」、演習「ケース討議とグループシンク」	1回	1カ所	1日	100人	-	-	-
	スーパーバイザー養成研修	職務経験5年以上の職員で指導的立場にある者	講義「スーパービジョンの基礎理論」、演習「自己覚知と他者理解」等	1回	1カ所	3日	49人	-	-	-
	コミュニケーションスキルアップ研修	職務経験2年以上の職員	講義・演習「『介護体験から語る』介護実践におけるコミュニケーションの特性」、講義・演習「コミュニケーションによるケアの技法」	2回	1カ所	2日	391人	-	-	-
接遇研修[初級コース]	職務経験2年未満の職員	講義「接遇の基本～福祉サービスの心構えとマナー」、講義・演習「職場における実践マナー」	2回	1カ所	1日	214人	-	-	-	
メンタルヘルス研修	施設関係職員	実践報告「『心の悩み』等の相談機関について」講義「職場のメンタルヘルス」	1回	1カ所	1日	163人	-	-	-	

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。

質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。

質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。

--	--	--

事業者団体調査(富山県社会福祉協議会)

実施主体										
質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。										
1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他	
富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ	新任職員研修	新任の社会福祉事業従事者(原則として勤務年数1年未満の者)	講義・演習	4回	1カ所	13.5時間(2日)	385人	-	-	-
	中堅職員研修	社会福祉事業に従事する経験年数3~5年で主任、係長等の役職についていない者	講義・演習	1回	1カ所	13.5時間(2日)	89人	-	-	-
	中堅職員フォローアップ研修	社会福祉事業に従事する経験年数6年以上で主任、係長等の役職についていない者	講義・演習	1回	1カ所	13.5時間(2日)	86人	-	-	-
	指導的職員研修	社会福祉事業に従事する主任、係長等の役職にある者	講義・演習	1回	1カ所	13時間(2日)	86人	-	-	-
	介護福祉士養成研修(講義)	介護福祉士の国家資格の取得を目指す者	講義	1回	1カ所	42時間(7日)	116人	-	-	-
	介護福祉士養成研修(実技)	介護福祉士国家試験の筆記試験合格者で、平成22年3月実施の介護福祉士国家試験の実技試験を受験する者	実技	7回	1カ所	6時間(1日)	189人	-	-	-
	サービス提供責任者	指定訪問介護事業所におけるサービス提供責任者	講義・演習	1回	1カ所	16.5時間(3日)	69人	-	-	-
	ホームヘルパー技術講習会	現在の訪問介護員であって、介護福祉士、介護養成研修1級課程又は2級課程研修修了者	講義・演習・演習	3回	1カ所	12時間(2日)	135人	-	-	-
	富山型デイサービス職員研修	富山型デイサービス施設の職員	講義	2回	1カ所	12時間(2日)	80人	-	-	-
	障害者(児)ホームヘルパー等養成研修	①ホームヘルパー(訪問介護員)養成研修1、2級課程修了者及び介護福祉士 ②障害者(児)ホームヘルパーとして現に活動している者又は今後活動しようとしている者(サービス提供責任者を含む)	講義・実習・演習	1回	1カ所	17時間(3日)	26人	-	-	-
	移動支援従業者研修(視覚障害者課程、全身性障害課程)	県内の障害者自立支援法上の指定(または基準該当)居宅介護事業所に勤務しているホームヘルパー(訪問介護員)養成研修1、2級課程修了者又は終了予定者及び介護福祉士	講義・実習	1回	1カ所	14時間(3日)	48人	-	-	-
	行動援護従業者養成研修	①ホームヘルパー1級又は2級課程修了者、介護福祉士で知的障害者(児)又は精神障害者の直接支援業務に1年以上従事した者 ②県内の指定居宅介護事業所、指定児童デイサービス事業所、指定相談支援事業所又は知的障害者入所施設等に勤務している者	講義・演習	1回	1カ所	19.5時間(3日)	31人	-	-	-
	認知症ケア研修	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で3年以上勤務する介護職員	講義・演習	1回	1カ所	11時間(2日)	68人	-	-	-
	リスクマネジメント研修	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で3年以上勤務する介護職員	講義・演習	1回	1カ所	11時間(2日)	65人	-	-	-
	介護職員記録研修	介護老人福祉施設及び介護老人保健施設で勤務する介護職員	講義・演習	1回	1カ所	5.5時間(1日)	51人	-	-	-

質問2 研修等の実施にあたり、何か課題はありますか。	質問3 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような工夫をしていますか。	質問4 できるだけ多くの介護職員が参加するためにどのような支援が必要だと思いますか。
<ul style="list-style-type: none"> 講師の選定 講師情報の不足、中央との講師数の差 受講料 予算とのバランス 研修ニーズの把握 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所が職員を研修に送り出すときに、勤務のシフトを組みやすいよう、研修開催の案内・受講決定は時間的な余裕を持って行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員を研修に参加させる際に、代替職員を雇用できる制度の継続

事業者団体調査(石川県社会福祉協議会)

実施主体	質問1 貴団体における昨年度の介護職員を対象とした研修等の名称、対象者、内容、実施回数等について、記載してください。									
	1 名称	2 対象者	3 内容	4 年間実施回数	5 実施力所数	6 時間数(期間)	7 年間受講者数	8 費用(1人当たり)	8 費用(総事業費)	9 その他
石川県社会福祉協議会	福祉施設等共通階層別(組織編)職員研修	社会福祉施設職員	福祉施設職員のその経験年数、職位などに合わせ、新任、中堅、指導的職員、指導的実践編、施設長運営管理研修などを実施している。	20回	1カ所	14時間(2日)	734人	-	-	-
	対人援助技術講座(基礎編)	老人、障害施設の生活相談員、介護職員等	福祉(生活支援)の専門職としての土台となる価値・倫理及び基本的な知識について学ぶ。参加者個々が新たな学びや作業によって、実践現場への効果的な反映と、専門職としてのスキルアップを図る。	1回	1カ所	36時間(6日)	58人	-	-	-
	対人援助技術講座(フォローアップ編)	過去に対人援助技術講座(基礎編)を受講した者	基礎的研修終了後の実践を振り返りながら、その効果と課題を検証しつつ、専門職としてのステップアップを図ること。また、専門職としての個人とチーム・組織を意識したポジショングに視点を置くことで、支援実践から事業運営を視野に入れた実践活動能力を養う。	1回	1カ所	12時間(2日)	24人	-	-	-
	対人援助技術講座(指導者養成研修)	基礎研修及びフォローアップ研修を経て、職場や地域における指導者として主体的な活動を目指す専門職	自己を振り返り、高めていくと同時に、指導者として必要な様々な知識や技術を習得する。また、実践現場における課題等の検証を行い、これからの実践活動につなげる。	1回	2カ所	54時間(9日)のうち3~4日程度	12人	-	-	-
	社会福祉施設介護福祉士医療行為等研修	社会福祉施設等に勤務する介護福祉士	介護福祉士が「行ってはいけない行為」を学び、「行える行為(医療外行為)」について、対象の特徴に応じた適切な知識・技術について習得する。	2回	1カ所	28時間(4日)	112人	-	-	-
	老人施設職員階層別研修(技術編)新任職員研修	老人施設で勤務経験3年未満の介護職員	介護者として必要な基本的な心構えや介護技術を習得するとともに、事例検討の意義及び留意点について学ぶ。	1回	1カ所	18時間(3日)	38人	-	-	-
	老人施設職員階層別研修(技術編)中堅職員研修	老人施設で勤務経験3年以上の介護職員	介護者に必要とされる対人援助の視点を習得するとともに、課題研究をとおして日常の介護技術を再確認する。	1回	1カ所	18時間(3日)	42人	-	-	-
	老人施設職員階層別研修(技術編)指導的職員研修	老人施設の指導的介護職員	介護者として必要となる援助の視点を再確認するとともに、指導的職員としてのチーム実践の視点と技法を学びリーダーとしての自覚を促す。	1回	1カ所	18時間(3日)	22人	-	-	-
	社会福祉施設職員テーマ別課題研修「社会福祉施設等における介護職員の医療行為に関する知識と技術について」	社会福祉施設の介護職員	「行ってはいけない行為」を学び「行える行為(医療行為以外)」について、特徴に応じた適切な知識・技術について講義・演習を通して学ぶ。	1回	1カ所	5時間(1日)	58人	-	-	-
	介護実習指導担当者等スキルアップ研修	介護実習生受入担当者、介護現場での新任職員教育担当者	これからの福祉人材を育成する実習生受入れ体制を整備するため、介護実習生の受け入れ担当者、及び、介護現場での新任職員教育担当者として必要な視点や知識を習得する。	1回	1カ所	6時間(1日)	42人	-	-	-
	職場内研修担当者研修(基礎編・実績編)	社会福祉施設の職場内研修担当者	福祉の職場における人材育成の意義や方向性、職場研修の基本的な考え方、仕組みや推進の手順を習得する。	2回(隔年で基礎編2回、基礎編1回と実践編1回)	1カ所	18時間(3日)	38人	-	-	-
	認知症介護実践研修(①実践者研修②実践リーダー研修)	県内の介護保険施設・事業所で認知症介護に携わっている介護職員等で①実務経験年数が2年以上②「実践者研修」を修了して1年以上経過しており実務経験年数が5年以上の者	①認知症高齢者の自立した生活を支援するために求められる認知症介護の知識と技術、介護現場での実践力の習得 ②実践者研修で得られた知識・技術をさらに深め、介護現場において効果的・効率的なチームケアを担うことができる指導者の育成	①3回 ②1回	1カ所	①26.5時間+実習等4日(11日) ②55.5時間+実習等19日(27日)	①177人 ②28人	-	-	-
	福祉施設におけるケア事故予防研修	高齢者・障害者福祉施設の介護現場におけるリスクマネジメント担当者	利用者の安全対策を中心としたリスクマネジメント体制を整備するための知識、手法について講義・演習を通して学ぶ。	1回	1カ所	12時間(2日)	59人	-	-	-
老人福祉施設職員研究会デイサービスセンター職員研修会	介護、看護職員他	介護保険制度の動向 介護事例の研究発表 介護に必要な感性 メンタルヘルス 等	1回	1カ所	10時間(2日)	150人	-	-	-	